

要請番号 (JL02125A31)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カンボジア	H107 助産師	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

スバイリエン州病院

3) 任地 (スバイリエン州スバイリエン) JICA事務所の所在地 (プノンペン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1959年に設立された州内のトップリファラル病院(CPA3)である。配属科の産婦人科を含む11の診療科を有し、総病床数は約170床、1日平均の外来患者数約100人。産婦人科の病床数は24床、月次分娩数約300人、内約15%程度が帝王切開である。日本の無償資金協力により病院の一部を改修し、2017年から外来、救急科、産婦人科、手術部において新しい病棟での診療を始めた。また2022年5月まで技術協力プロジェクト「母子継続ケア改善プロジェクト」の対象病院となった。当病院には歴代2名の看護師隊員を派遣した実績があるが、助産師隊員の派遣は初となる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の新生児死亡率は2000年3.5%、2010年2.1%、2020年1.3%と改善しているが、周辺地域と比較すると未だ2倍程度高い。また人口1万人あたりの看護師/助産師は9.5人であり、これは東アジアおよび東南アジア地域の中低所得国平均(看護師/助産師19.0人)と比べて著しく少ない。加えて、首都と地方との格差も大きく、特に地方部における医療従事者の不足や、助産師の経験・訓練不足は大きな課題である。同病院には現在28名の助産師が在籍するが、その知識・技術には大きな個人差がある。助産師全体のレベルを一定の水準に引き上げるために、現場で指導、支援を行うことができる協力隊を求められ本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 衛生環境改善及び助産サービスの向上に寄与する。
 2. 患者記録や物品管理など、効率的なオペレーションのシステム作りの支援を行う。
 3. 産前産後指導・退院指導・母子看護等につき同僚とともに取り組みながら指導・助言を行う。
 4. 助産技術の問題の明確化とマニュアル作成、勉強会の実施を行う。
- 尚、着任後は日本でなくカンボジアにおける助産のスタンダード・国として定められた各種プロトコル・アルゴリズムを理解し、その範疇での知見の共有・選択肢の提示といった側面支援活動を行うことが大前提となる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

血圧計、聴診器、ドップラー、吸引分娩器、新生児用アンビューマスク、酸素濃縮装置、CTGモニター、成人用心電図モニター(電極なし)、インファントウォーマーなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

院長:男性 50代

産婦人科:医師6名(チーフ1名 男性50代)、助産師28名(うち女性25名、リーダー1名 女性40代)

活動対象者:主に上記助産師

5) 活動使用言語

クメール語

6) 生活使用言語

クメール語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(助産師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：経験に基づく支援が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(22~38℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

同産婦人科では、助産だけでなく婦人科の医療サービスについても助産師達が提供する。